

宇佐市

生コン製造の流れなど学ぶ

建設工事監督職員研修会を開催

宇佐市契約管財課は7月25日、宇佐市院内の県北コンクリート工業(株)プラント工場で「宇佐市建設工事監督職員研修会」を開催、実地研修として生コン製造の流れ・工場見学・生コン試験手順の実演・実習などを研修した。

研修会には、中島慎之契約管財課検査係主幹(総括)をはじめ市建設工事監督職員(土木課、都市計画課、農林水産課など)、来賓の奥田和茂宇佐生コンクリート事業協同組合理事長(奥田生コン(株))、下村和生副理事長(県北コンクリート工業(株))、梅田睦理事(筑紫菱光(株)中津工場)のほか組合4工場の筑紫菱光(株)

中津工場・国見生コン(有)安心院工場・奥田生コン(株)・県北コンクリート(株)など関係者約30人が出席した。

主催者を代表して、中島契約管財課検査係主幹(総括)が「今年の2月に技術研修を行い、これと合わせて今回の実施研修となりました。職員一同、コンクリートは土木材料の上で非常に信頼のおける品物で身近に感じている。生コン工場でもた再度、意識を高めるためにもご協力を」と挨拶。生コン組合を代表して、奥田理事長が「実際に生コンを見ていただき、これからの業務と、組合各社の品質向上に向けて協

力していきたい」と挨拶した。

研修では、実地研修責任者の橋本渡工場長(県北コンクリート工業(株))が「生コン製造の流れ・工場見学・生コン試験手順の実演・実習など」について説明。このあと、プラント工場へ移動し、生コン試験手順の実演、スランプ・空気量・塩分・供試体作成を見学し説明を受けた。

また、実習では、3班に分かれ①スランプ試験②空気量試験(エアータスト)③塩化物含有量試験④供試体(テストピース)作成を、各班に試験係が補助で付き体験。実習で供

試体破碎試験を見学した。

このあと、実施研修責任者の橋本工場長が挨拶。SDS(安全データシート)の案内、実施作業の感想及び質疑・応答が行われ、閉会の言葉を中島契約管財課検査係主幹(総括)が述べ、研修を閉会した。



〈生コン試験手順の実演・実習〉